

部品番号：WEB10068

名称：レスタック EB-01 エコ シンナーQ

安全データシート  
Safety Data Sheet (SDS)

商品の販売元：

住友建機販売株式会社

住所： 〒141-6025

東京都品川区大崎二丁目 1 番 1 号(ThinkPark Tower)

担当部門：カスタマーサポート部 部品グループ

電話： 050-9001-6447

FAX： 03-6866-5112

作成日: 2023年10月25日

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: レスタックEB-01 エコ シンナーQ

製品番号 (SDS NO): 51233000-1

製品種類:

レスタックEB-01用シンナー

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 塗料の希釈剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 大信ペイント株式会社

住所: 〒532-0032 大阪府大阪市淀川区三津屋北3-3-2

担当部署: 技術部

電話番号: 06-6302-7239

FAX: 06-6309-2731

緊急連絡先電話: 同上

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 3

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2B

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

環境有害性

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

**応急措置**

- 火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。
- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

**貯蔵**

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

**廃棄**

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

**特定の健康有害性**

- 有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
- 健康に有害であり、急性または慢性中毒の恐れがある。

**特定の物理的及び化学的危険性**

- 非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別：  
混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化管法 管理番号
トリメチルベンゼン	2.6	25551-13-7	管理番号691
軽質芳香族系石油ソルベントナフサ	1 - 5	64742-95-6	-
酢酸n-ブチル	90 - 95	123-86-4	-

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

**危険有害成分**

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

トリメチルベンゼン，軽質芳香族系石油ソルベントナフサ，酢酸n-ブチル

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

トリメチルベンゼン，軽質芳香族系石油ソルベントナフサ，酢酸n-ブチル

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

トリメチルベンゼン

**4. 応急措置**

**応急措置の記述**

**吸入した場合**

- 蒸気、ガス等を大量に飲み込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かくし安静にする。
- 呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。
- 直ちに医師の手当てを受けること。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所に安静にし、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

症状が改善しない場合は、医師の診断を受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。

溶剤、シンナーは使用しないこと。

付着物を布にて素早く拭き取る。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

まぶたの裏まで完全に洗うこと。

出来るだけ早く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示以外では無理に吐かせないこと。

## 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤

水を使用してはならない。

消火を行う者への勧告

消火方法

指定の消火剤を使用すること。水を消火に用いてはならない。

適切な保護具(耐熱着衣など)を着用する。

消火活動は風上より行うこと。

安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から、素早く取り除く。

高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

屋内では換気をしっかり行う。

屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

付近の着火源、高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項

河川への排出により、環境への悪影響を起こさないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い上の注意

#### 技術的対策

##### (取扱者のばく露防止)

換気の良い場所で行う。容器はその都度密栓する。

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

静電気対策のため、装置などは接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。

工具は火花防止型のものを使用する。

作業中は、帯電防止型の作業服、安全靴を使用する。

皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。

過去にアレルギー症状を発症している人は取り扱わないこと。

取扱い後は手、顔をよく洗い、うがいをする。休憩所等に手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。

#### 塗装上の注意

塗装時は局所排気装置を稼働させて有機溶剤蒸気が滞留しないようにすること。

塗装中は有機溶剤蒸気及び、塗料ミストにさらされるので、防毒マスク(フィルタ付)又は送気マスク、保護眼鏡、保護服、安全靴などの保護具を着用すること。

長時間塗装する場合は、送気マスクを着用すること。

タンク、地下室のような密閉された場所における塗装作業には、局所排気装置を付け、送気マスク、保護眼鏡、保護服、安全靴などの適切な保護具を着用すること。

塗装作業場に着火源となるものを持ち込まないこと。又、万一の出火に備えて適切な消火器を準備すること。

使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、廃棄するまで水に漬けておくこと。

塗装後の乾燥は換気量を十分に確保し、塗料の臭気なくなるまで換気を継続すること。

#### 衛生対策

### 保管上の注意

#### 安全な保管条件

日光の直射を避ける。通風の良い所に保管する。

火気、熱源から遠ざけて保管する。

冷暗所、乾燥した場所に保管する。

盗難防止のために施錠保管する。子供の手の届かないところに保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

#### 管理濃度

(酢酸 $n$ -ブチル)

作業環境評価基準(2012)  $\leq$  150ppm

#### 許容濃度

(トリメチルベンゼン)

ACGIH(2021) TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影響)

(酢酸 $n$ -ブチル)

ACGIH(2016) TWA: 50ppm;

STEL: 150ppm (眼及び上気道刺激)

### ばく露防止

#### 設備対策

取扱設備は防爆型を使用する。

排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにする。

液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取るよう設備すること。

取扱場所の近くには高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。

屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等、作業者が直接暴露されない設備とするか、

局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。

タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

保護具

呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスク(フィルタ付)又は送気マスクを着用する。  
密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具

取扱いには保護眼鏡を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色透明

臭い：溶剤臭

融点/凝固点データなし

沸点126°C

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限及び爆発上限/可燃限界：

爆発下限：1.2 vol %

爆発上限：7.6 vol %

引火点：23°C

自然発火点：420°C

分解温度データなし

pH：知見なし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧：1,533Pa(25°C)

密度及び/又は相対密度：0.89g/cm<sup>3</sup>(20°C)

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

反応性

酸化剤との接触により発熱の恐れがある。

燃焼するとCOなどを発生することがある。

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

動物 一次刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2B, 眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

眼刺激性 (HSDB, 2014)

(酢酸n-ブチル)

ラビット 48時間後に回復 (SIDS, 2009)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[成分データ]

[EU]

(軽質芳香族系石油ソルベントナフサ)

Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

気道刺激性 (HSDB, 2014)

(酢酸n-ブチル)

気道刺激性 (CICAD 64 2005)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

(酢酸n-ブチル)

麻酔作用 (CICAD 64 2005)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

中枢神経系、呼吸器 (環境省リスク評価第11巻, 2013)

誤えん有害性

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity < 8.9 mm<sup>2</sup>/s (1,3,5-trimethylbenzene)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

甲殻類 (グラスシュリンプ) LC50=5.4mg/L/96hr (Aquire, 2003)

(酢酸n-ブチル)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=18mg/L/96hr (CICAD 64, 2005)

水溶解度

(トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

(酢酸n-ブチル)

0.7 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

残留性・分解性

[成分データ]

(トリメチルベンゼン)

1,3,5-トリメチルベンゼン\_BODによる分解度: 0% (既存点検)

(酢酸n-ブチル)

急速分解性あり (BODによる分解度: 98%, SIDS, 2009)

生体蓄積性

[成分データ]

(トリメチルベンゼン)

log Pow=3.4 through 3.8 (ICSC, 2002); BCF=328 (1,3,5-トリメチルベンゼン:

既存化学物質安全性点検データ)

(酢酸n-ブチル)

log Pow=1.78 (PHYSPROP DB, 2009)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

廃塗料、容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

容器、機器装置などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

廃塗料などを焼却処理する場合には、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン特別措置法及び都道府県条例にもとづき処置する。

塗料製品、廃塗料及び焼却灰などは、特別管理産業廃棄物に該当することがあるので、廃棄はこの法律によって行うこと。

---

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1263

正式輸送名 :

塗料又は塗料関連物質

分類または区分 : 3

容器等級 : III

指針番号: 128

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

---

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等

含有有機溶剤

酢酸n-ブチル; 軽質芳香族系石油ソルベントナフサ

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

トリメチルベンゼン; 軽質芳香族系石油ソルベントナフサ; 酢酸n-ブチル

名称通知危険/有害物

トリメチルベンゼン; 軽質芳香族系石油ソルベントナフサ; 酢酸n-ブチル

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (0°C ≤ 引火点 < 30°C)

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

トリメチルベンゼン(2.6%)

消防法

危険物

第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 III(指定数量 1,000L)

化審法

優先評価化学物質

トリメチルベンゼン; トリメチルベンゼン

---

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：JIS参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。